

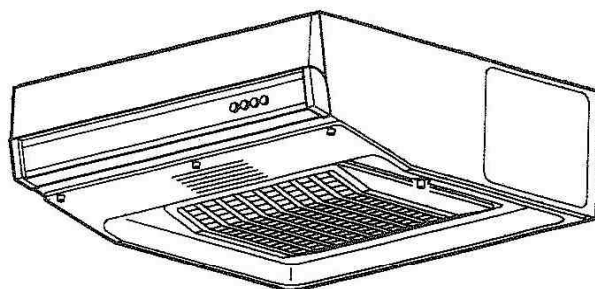
日立レンジ用フードファン

HF-60G・HF-60S・HF-60GM形

このたびは日立レンジ用フードファンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書・据付説明書をよくお読みにになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、据付説明書とともに大切に保存してください。



も く じ

	ページ	欄
安全上のご注意	2	
各部のなまえ	3	
使いかた	4	
ランプの交換のしかた	4	
お手入れのしかた	5	
故障かなと思ったら	6	
アフターサービス	7	
仕 様	8	





安全上のご注意




ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。










■ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

 警告	
 感電の恐れあり ●電球を交換する時は必ず電源プラグを抜いてから行ってください。	 修理技術者以外は絶対に分解したり、修理・改造しない ●発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
 お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く、また、ぬれた手で抜き差ししない ●感電やけがをすることがあります。	 水につけたり、水をかけたりしない ●ショート・感電の恐れがあります。
 本体各部に直接水やお湯、かび取り剤等をかけない ●ショート・感電の原因になります。	 電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく ●火災の原因になります。
 電球を交換するときは、必ず電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカを切つて行う ●抜かずに作業すると感電することがあります。	 ガス漏れの恐れがある場合は、換気扇を使用しない ●爆発・引火の恐れがあります。

⚠ 注意



やけどの恐れあり

- 指定以外の電球を使用しないでください。



けがの恐れあり

- お手入れの際はゴム手袋等をお使いください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く

- 感電やショートして発火することがあります。



長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



羽根や部品の取り付けは確実に行う

- 落下によりけがをする恐れがあります。



運転中は危険ですから羽根の中に指や物をいれない

- けがの恐れがあります。



お手入れの際は、必ず手袋を着用する

- 板金の端などでけがをする恐れがあります。



本体に異常な振動が発生した場合、使用しない

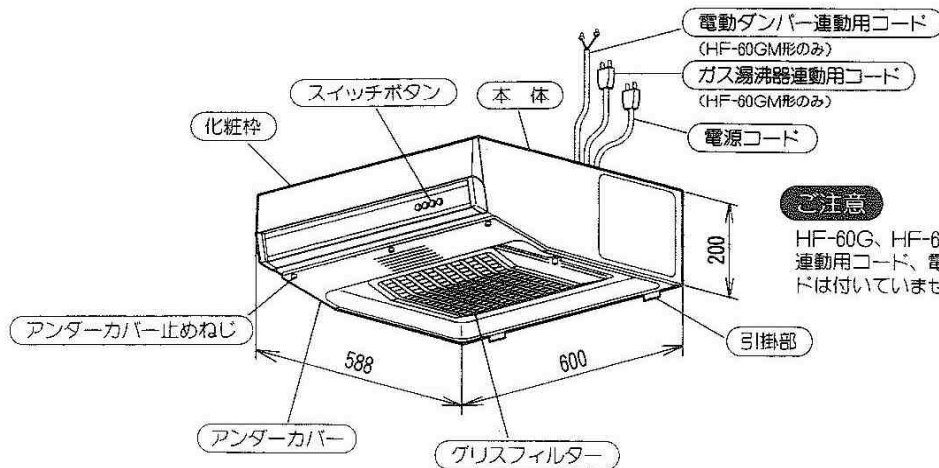
- 本体、部品の落下によりけがをする恐れがあります。



指定以外の電球を使用しない

- ランプ部分が高温となりやけどをする恐れがあります。

各部のなまえ



(単位：mm)

使いかた

⚠ 注意



運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない。

- けがの恐れがあります。

ご注意

- ガステーブルを使用するときは、必ずレンジ用フードファンを運転してください。運転しないとフード内の温度が上がり、高熱による故障の原因となります。
- ガステーブルの空炊きは絶対にしないでください。レンジ用フード内の温度が高くなり故障の原因となります。

■ ガス湯沸器使用の場合（HF-60GM形のみ）

ガス湯沸器を使用すると、レンジ用フードファンはスイッチのボタン操作に関係なく「強」運転します。

ご注意

スイッチが「切」状態でも、ガス湯沸器を使用すると「強」で運転します。

■ ガス湯沸器を使用しない場合

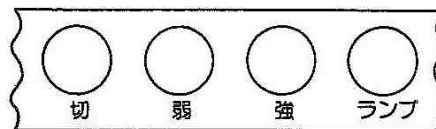
スイッチのボタンを押します。

ランプ …… ランプが点灯します。

強 …… 煙などが多く出るとき、早く排気したいとき。

弱 …… 煙などが少ないとき、長時間運転したいとき。

切 …… 運転が停止し、ランプが消灯します。



ランプ交換のしかた

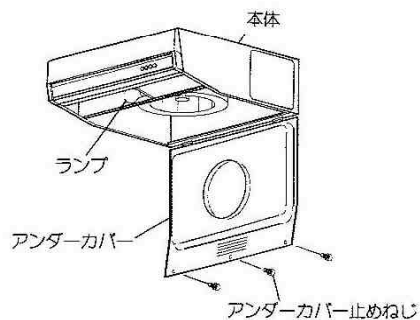
ご使用中ランプが切れた場合には、市販の一般照明用電球（定格100V60W形）を購入し、交換してください。

● ランプの交換方法

- (1) アンダーカバー止めねじ(3本)をドライバーで外します。(アンダーカバーを手で支えながら外してください。)
- (2) 切れたランプを取り外し、アンダーカバー内のソケットに新しいランプを確実に固定します。

ご注意

ランプの交換はスイッチを「切」にしてから行ってください。感電の恐れがあります。



お手入れのしかた

⚠ 警告



お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く、また、ぬれた手で抜き差ししない。
●感電やけがをすることがあります。

⚠ 注意



お手入れの際は、必ず手袋を着用する。
●板金の端などでけがをする恐れがあります。

ご注意

- 突起や角でけがをしないように静かにふいてください。
- シンナー、灯油、みがき粉、アルカリ性洗剤などは使用しないでください。変質・変色の恐れがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

1. 分解・組み立てのしかた

⚠ 注意



羽根や部品の取り付けは確実に行う。

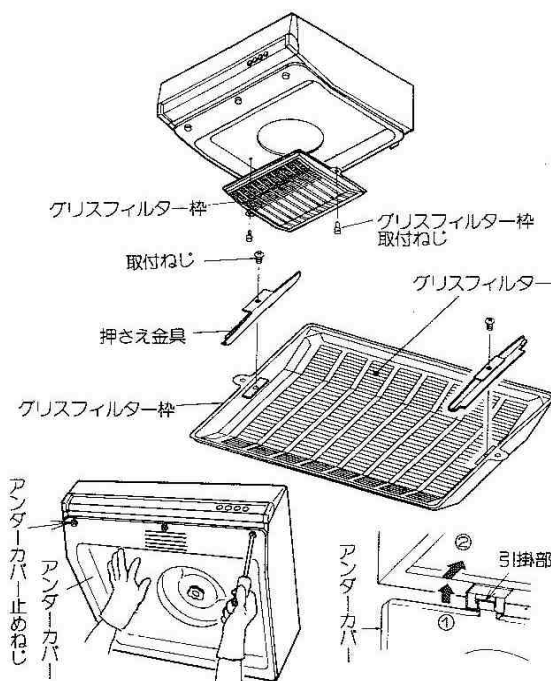
- 落下によりけがをする恐れがあります。

■グリスフィルターの着脱

- (1) 本体よりグリスフィルター枠を取り外します。グリスフィルター枠取付ねじ2本を外し取り外します。
- (2) グリスフィルター枠よりグリスフィルターを取り外します。押さえ金具2本の取付ねじを緩めて外し、取り外します。

■アンダーカバーの着脱

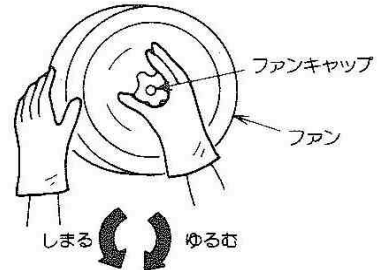
アンダーカバー止めねじ(3本)をドライバーで外します。後部の引掛部から外すと、アンダーカバーは本体より取り外せます。(アンダーカバーを手で支えながら外してください。)



お手入れのしかた (続き)

■ファンの着脱

- (1) ファンを押さえファンキャップを時計方向に回して外したあと、ファンを手前に引き、モーター軸から外します。
- (2) 取り付けるときは、ファンを元まで差し込みファンキャップを締め付けます。



ご注意

ファンをぶつかけたり、落としたり変形させないでください。

2. お手入れのしかた

⚠ 警告



水につけたり、水をかけたりしない。

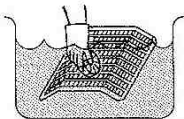
- ショート・感電の恐れがあります。

ご注意

あまり汚れないうちに掃除してください。

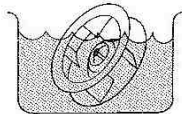
■ グリスフィルター

1か月に1度程度、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち金属以外のタワシなどで洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



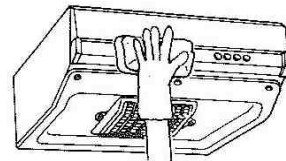
■ ファン

本体から外して、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないよう水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



■ 本体、前面カバー

中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふきとったあと、洗剤が残らないよう、清水を湿らせた布で洗剤を良くふきとってください。



故障かなと思ったら

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください。

症状	点検するところ
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ● ヒューズ、ブレーカーが切れていませんか。 ● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。
振動・騒音が大きくなった	<ul style="list-style-type: none"> ● ファン固定用ファンキャップが緩んでいませんか。 ● グリスフィルター、ファンの汚れが多くなっていませんか。

アフターサービス (必ずお読みください)

補修用性能部品の最低保有期間

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

出張修理

前ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品名	換気扇
型名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器など設備費、一般管理費などが含まれます。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部品などを含む場合もあります。
+	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検

★長年ご使用の換気扇の点検を



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある。
- 回転が遅い。または回転が不規則である。(排気が弱い)
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

ご使用中

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

エコセンターへ
TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87
受付時間：9:00～19:00 (365日)

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

お客様相談センターへ
TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34
受付時間：9:00～17:30 (月～土)、9:00～17:00 (日・祝)
携帯電話、PHSからもご利用できます。
(年末年始は休ませていただきます)

日立家電品の長期使用についてのご相談は日立長期使用家電品相談窓口へ

TEL 0120-145-458
受付時間：9:00～17:30 (月～土)、9:00～17:00 (日・祝)
携帯電話、PHSからもご利用できます。
(年末年始は休ませていただきます)

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

ご注意

このレンジフードファンは、家庭用です。
業務用としてご使用になると短時間で故障する可能性があります。
その場合は、お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてお使いになることをお勧めします。
● このようなご使用は、保証の対象外となります。

アフターサービス (続き)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づき経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

- 「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。

【設計上の標準使用期間】10年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件 日本電機工業会自主基準 HD-116-4より引用

環境条件	電圧	単相 100V	
	周波数	50Hz又は/及び60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603 参照
	湿度	65%	JIS C 9603 参照
	設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件		定格負荷 (換気量)	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 ^{a)} 台所 2 410時間/年	

注 a) 常時換気 (24時間連続換気) のものは、8 760時間/年とする。

仕様

形名	HF-60G	HF-60S	HF-60GM
電源	100V 50/60Hz 共用		
消費電力	強	62/74W	68/78W
	弱	42/46W	47/50W
風量	強	690/690m ³ /h	580/580m ³ /h
	弱	465/415m ³ /h	420/410m ³ /h
質量	11.5kg		

お客さまメモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名

電話()

ご購入年月日 平成 年 月 日

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

株式会社 日立産機システム

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地AKSビル
電話(03)4345-6000(代)

日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2
電話(03)3255-5255